



# 特集

## 地産地消

### 地元を 味わおう！

# 「地

産地消」とは、地域で生産されたものを、その地域で消費することです。地元で生産されたものを食べることは、生産者にも消費者にもメリットがたくさんあります。

市では平成18年6月2日に「地産地消・食の安全と自給率向上都市宣言」を行い、さまざまな取り組みを行っています。市内で行われている「地産地消」を特集しました。

### 地産地消のメリット 生産者にとっては…

- ・消費者のニーズを即座に把握でき、産地の競争力の強化につながる
- ・流通コストの削減で収益アップ
- ・少量・多品目でも販売できる

### 消費者にとっては…

- ・身近な場所で作られた新鮮な農産物が食べられる
- ・直接、見て、聞いて、話して生産状況が確かめられ、安心感がある
- ・「食」や「農」への理解が深まる

## ま るごと地元産 ふれあいパーク八日市場



いつもパークを利用している加瀬忠弘さん、一枝さん夫妻（横浜市）

毎週末、ふれあいパークに立ち寄ります。主に野菜や加工品を買っています。野菜は新鮮で、おいしくて、おまけに安い。横浜の6割くらいだと思います。買うのはコマツナ、ハウレンソウ、ダイコンなど。豚肉もうまい。ここは米もおいしいです。おすすめは、きな粉。香りがとても良いですね。



新鮮・安全を  
モットーに

ふるさと交流協会  
大木秀子会長



ふれあいパークでは、会員一人ひとりがブランドを持つよう指導しています。また、人や環境に優しいエコ農産物も増えてきています。地元で採れた新鮮で安全な野菜や加工品をたくさんの人たちに食べていただきたいですね。

まごころ込めて  
お届けします

野菜生産者  
磯部幸得さん  
（中央地区）



キャベツ、レタス、ブロッコリー、スイートコーン、枝豆、ソラマメなどを作っています。いつも地元でとれた安心・安全なものをお届けできるようにしています。



郷土料理レストラン「里の香」は、旬の食材を使ったふるさとの味で人気

年間120万人を超える来場者でにぎわうふれあいパーク八日市場。地元農家がまごころ込めて作った野菜は、農薬や肥料に関してきちんと管理の上、多い日には一日4～5回の入荷があります。すべての商品には、生産者名が記入され、安心・安全・新鮮。市外から来られた方に限らず、近隣の方々にも大好評です。



県内では、匝瑳市でのみ生産されている赤ピーマンを、市の特産品として盛り上げていこうと作成されたシンボルキャラクター「あつぴいちゃん」が登場。

キャラクター作成者は平野愛さん(匝瑳高)命名者は伊藤早希さん(八日市場一中)と大木友理香さん(八日市場小)。農業まつり会場で、あいきょうを振りまきながら赤ピーマンをピーアールして歩きました。



## 農業者と市民の交流祭典 そうさ農業まつり

恒例のそうさ農業まつりが11月11日(日)に開催されました。農産物の販売・配布が行われる各テントでは農業者と消費者が笑顔で交流(=写真上)各種イベントも行われ、約2万人の来場者でにぎわいました。



◀豊栄地区在住の黒沢さん親子

市内でお金を使いたいのと、地元の安全で新鮮な野菜が手に入るので農業まつりに来ました。

匝瑳地区在住の大木さんと娘で千葉市在住の元木さん

新鮮な野菜が欲しくて毎年農業まつりに来ています。今年もたくさん買いました。お惣菜類も千葉市では手に入らないものがたくさんありますよ。



そうさ農業まつりは、農業者にとっては、生の消費者の声を聞くことができる絶好の機会です。また、消費者にとっては生産者との交流を通じて、新鮮な野菜を安心して買うことができる場でもあります。市には、頑張っている農家がたくさんいるということ、どんどんアピールしていきたいですね。



農業まつり  
副実行委員長  
椎名正一さん



## “ふれあい”も魅力 直売所・朝市

直売所や朝市の魅力は、新鮮な野菜や魚ばかりではありません。生産者の皆さんとの“ふれあい”もその一つです。例えば野菜や魚の料理方法などをわかりやすく教えてくれたり家庭菜園のアドバイスをしてくれたり…。農家の皆さんとのおしゃべりで、きっと元気になれるはずですよ。



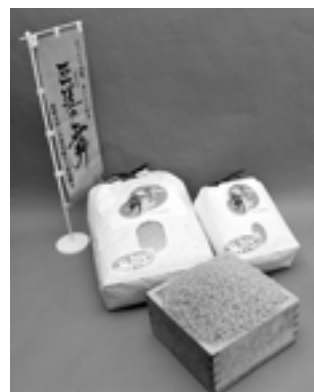
◀毎週日曜日、市役所南側駐車場で開催されている日曜朝市。この日は20周年感謝祭で豚汁の無料配布が行われました。



旬の魚介類や地元産野菜がそろそろ野手浜駅九十九里ビーチステーション。50kgのマグロ解体ショーにはお客さんも興味津々です。



◀市内の常設農産物直売所は3か所。朝市直売所、新鮮!ふるさと市場、JAそうさ飯倉台農産物直売所。どこへ行っても地元産新鮮野菜が買えます。野菜のおいしい調理方法などを気軽に聞いてみてください。



農業まつり会場で、そうさの米研究会が匝瑳市の新しいブランド米、「匝瑳の舞」(写真上)を発表しました。「匝瑳の舞」は県認証の減農薬・減化学肥料栽培で安心・安全。大粒でふっくらとしたおいしいお米です。食味重視の栽培で、低タンパクを目指しています。  
問い合わせ: そうさの米研究会  
☎ 67・3647、FAX 67・5367  
販売は5kg以上から 1kg400円(送料別)